

神田小の誇りは「明るい笑顔」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



# 学校だより

No. 2 さいたま市立神田小学校

平成29年 5月1日 発行 電話 (853) 4377  
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>



## 「心のふるさと」

校長 内野 多美子

新緑が目まぶしい、4月19日、1年生の給食開始、初日のことです。その日のメニューは、子どもたちが自分でパンにソーセージをはさむセルフホットドック、野菜スープ、いちご、牛乳です。「ホットドック、大好き!」「野菜スープ美味しい!」などという声が、1年生の教室のあちらこちらから、響いてきます。そんな時、お昼の放送で今月の歌「校歌」が流れ始めました。すると、1年生の子どもたちは、そろって校歌を口ずさみはじめ、最後には、クラス皆での大合唱となっていました。

神田小学校の校歌は、神田小学校が開校した昭和53年度に、日本童謡協会で活躍された、こわせ・たまみ先生が作詞、岩河三郎先生が作曲を担当されました。

私が着任し、初めてこの校歌を聞いたとき、リズムよく、誰でもすぐに口ずさめ、その上、歌詞から生き生きとした神田の子の姿が伝わる、なんと素晴らしい校歌なのだろうと思いました。

「故郷（ふるさと）」の意味を辞書で調べると、「自分が生まれた土地」「なじみ深い土地」などと書かれています。神田小の子どもたちが、校歌を日々口ずさみ、学校を「心のふるさと」として、楽しく、友だちと一緒に学習、生活し、大きく成長してくれると信じ、教職員一同、皆様と共に励んでまいります。どうぞ、皆様も、神田小学校校歌を子どもたちと共に、口ずさんでいただければと思います。

### 神田小学校 校歌

作詞 こわせ・たまみ

作曲 岩河 三郎

一、 ひかるよ ひかるよ 大きな空が  
のぼる朝日が ながれる雲が  
この むさし野の かがやきを  
心に うつして 学んで のびて  
あしたへ 進もう 神田の子  
さあ 足並みも 高く りりしく

二、 ひびくよ ひびくよ 元気な声が  
花の木立に 明るい窓に  
ああ 風に鳴る くすの木を  
見上げて 正しく 学んで のびて  
あしたを ひらこう 神田の子  
さあ 歌声も 強く 高鳴れ

三、 はげむよ はげむよ すなおに今日を  
土のめぐみも 豊かに香る  
この 鴨川や よし竹の  
歴史を うけつぎ 学んで のびて  
あしたへ はばたけ 神田の子  
さあ 二度とない 日々よ かがやけ

